

1. ごみの収集の在り方等検討委員会における考え方

＜「あるべき姿」を検討するにあたってのポイント＞
各主体の前向きな活動の促進

2. 事業の拡充に向けたあり方・仕組みを考えるにあたっての大枠の整理

事業	項目	確認事項
集団回収	○目的	○目的の明確化（コミュニティ活性化の意義） ○市からの支援の在り方（補助金か報奨金か）
	○補助金の在り方	○目的に応じた補助金額の導入 ○補助金額への市況の反映
	○事務手続き	○団体の事務手続きの簡素化 ○行政事務の簡素化
店頭回収	○支援	○市及び市民による事業者への支援の創出
新聞販売店の自主回収	○支援	○市及び市民による事業者への支援の創出
その他に考えられる回収方法		

3. 各主体の活動を受けた行政収集の見直し効果の確認対象の整理(*可能性の確認)

対象	項目	確認事項
全体	○地区の細分化	○収集車両台数の平準化
	○収集開始時間	○搬送回数の増(可能性)
	○資源ごみ有料化	○減量効果とコスト
分別	○分別の細分化	○回収日の変更も含めた回収効率
	○分別の創出	○不燃ごみ削減とコスト(小型家電等)
頻度	○頻度の最適化	○利便性とコストのバランス ○頻度減による減量効果の有無
拠点回収	○受け皿	○資源ごみの新たな受け皿(小型家電)